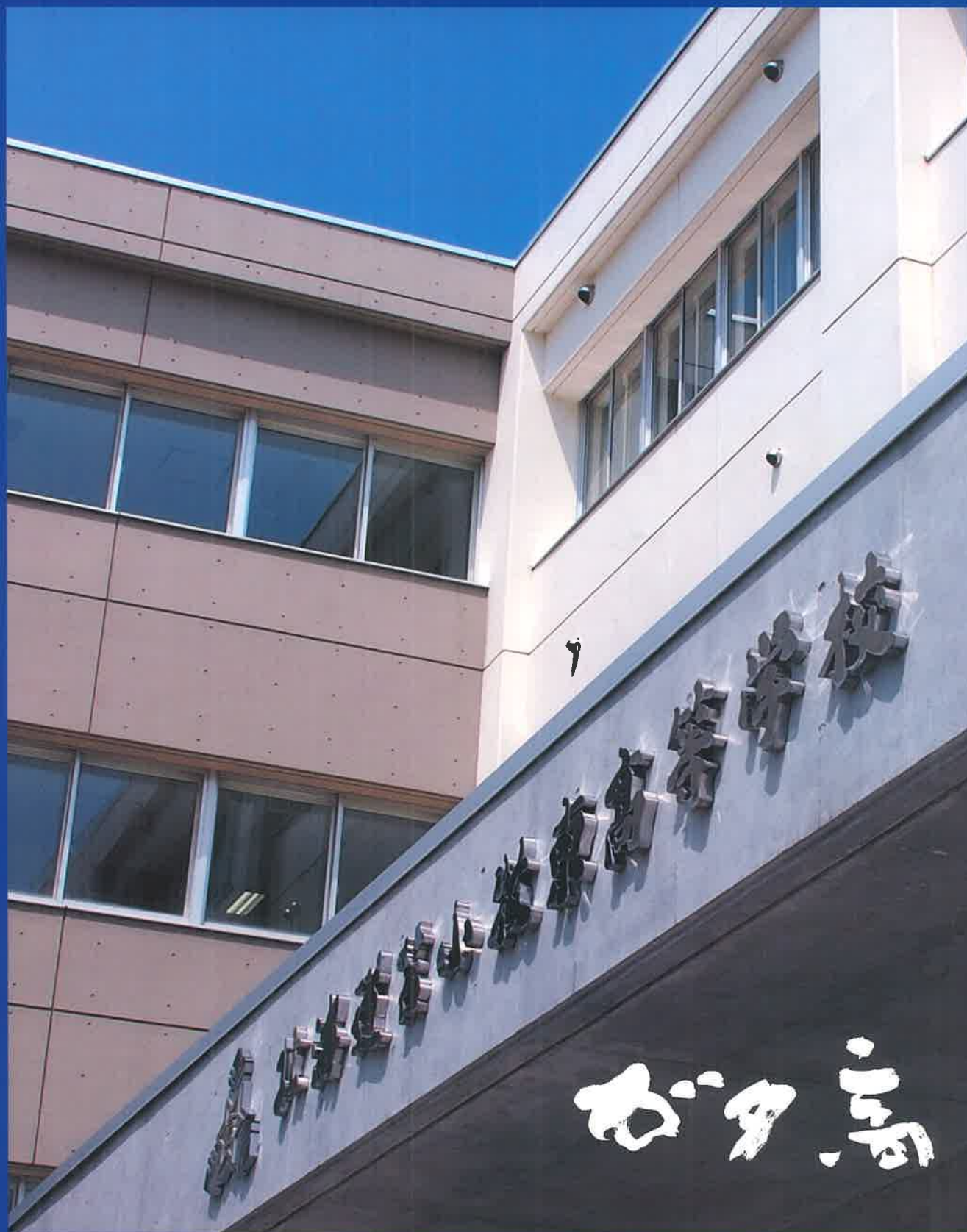




北海道苫小牧東高等学校

Hokkaido Tomakomai Higashi High School



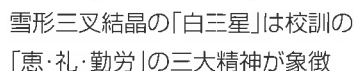
令和 7 年 学校案内

校訓

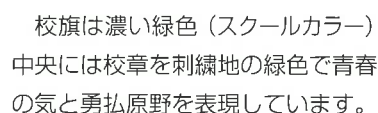
勤禮遜

昭和12年、苦中時代の渡辺富治初代校長が、「日々の生活の中で、報恩感謝（恵みに感謝する気持ち）こそ大切であり、その気持ちが礼儀や勤労となり生活の基礎となる。働く青年には進歩があり、礼儀正しい青年には向上があり、そのような人物こそ各分野のリーダーになれる」と考えたことから制定されました。

校章



校旗



校風

本校では「学習にも１００％、部活動にも１００％」を掲げ、熱心に取り組むことを奨励しています。

また生徒会活動を始め、自発的に活動に取り組んでいます。制服はありませんが、華美に流れることはありません。素晴らしい出会いを通じて人間的に成長していきます。

校歌

勇拂原則東遠く樽前
 山々翠紫し五笏の湖
 水清く太平洋の潮白う
 此の天地の正氣をとりて
 飛學校けしに事あり
 見よ洋上紫光無限
 心懸み尊しや見よ雲
 の香風直誠の空氣流
 しや聞け朝夕の波の音
 不斷の生命を云々強し
 忠義の禮と勤然と我
 學校の校訓を白き
 星に染めたるまきとみ入と
 なるべしと折筆の言葉
 我等が雄々しく起るを
 我等

渡邊雪舟詞 吉成良馬校歌歌
 長久保

渡辺富治初代校長が作詞。樽前山、勇払原野、太平洋に囲まれたこの大地に根を下ろし、そしてこの地で育まれてきた生徒達と汗にまみれ、土にまみれながら、校訓の礎となっている「勤労愛校の精神」を生徒とともに実践しよう、という願いのもとに作られました。作曲は、当時勤務していた音楽担当の酒井仁之進氏。昭和12年12月3日、初代校舎竣工式において初めて披露されました。

祝 2010年ノーベル化学賞受賞 鈴木 章 先生



創立80周年記念式典の様子

本校昭和24年卒(高校一期)の鈴木章北海道大学ユニバーシティプロフェッサー・名誉教授は、2010年ノーベル化学賞を受賞しました。

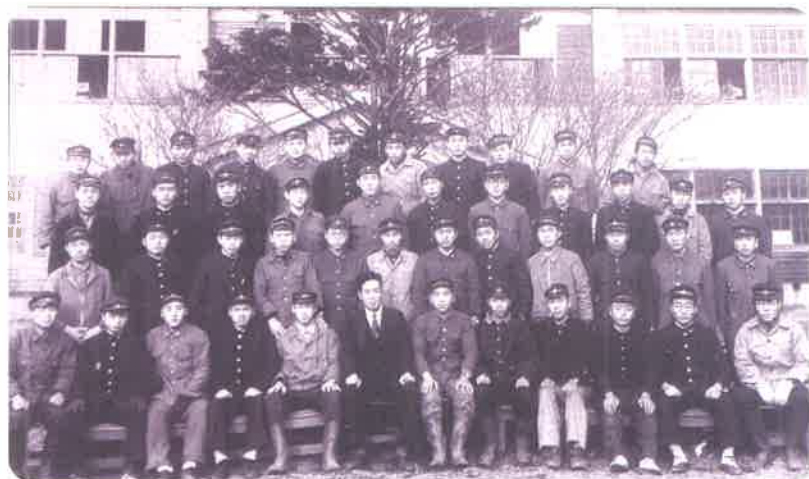
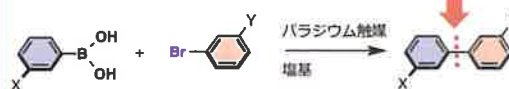
同窓会(白三会)では業績と名誉をたたえ、記念碑を建立いたしました。

鈴木カップリング反応

極めて実用性の高い合成反応として世界中で広く認知されています。有機分子を連結する大変優れた反応で医薬品や液晶材料など、高い機能を持つ有機分子の合成に広く利用されています。科学技術の発展と、人類の幸せに貢献している優れた研究です。

鈴木カップリング反応

矢印の部分が連結される



当時の写真～前から3列目、右から4人目が鈴木先生

Be gentle and ambitious

鈴木 章

幸運にもめぐり合えないのです

努力しなければ

努力する姿勢が大切です

そのためには決して諦めずに

実現していくものです

自分で考えて

与えられるものではなく

希望や理想は



記念碑

■教育課程

限られた授業時数の中で、大学で学ぶにふさわしい学力を身につけるため、2学年から理型と文型に分かれて学習します。理型の中には医学部医学科や理系難関大を目指す人たちのための理型αコースがあります。幅広く教養を身につけ、自立した人を育てることを目標に、受験科目に偏りすぎないカリキュラムになっています。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32																																	
1年	共通	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	化学基礎	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ 書道Ⅰ	英語 コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	LHR	総合探究																
		理型／α	論理国語	古典探究	地理総合	歴史総合	数学Ⅱ	数学B	化学	物理 生物	体育	保健	英語 コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	LHR	総合探究																	
2年	文型	論理国語	古典探究	国語研究	地理総合	歴史総合	数学Ⅱ	数学B	※物基+化基 ※化基+生基 ※物基+生基	体育	保健	英語 コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	LHR	総合探究																		
		理型／α	論理国語	古典探究	倫理 政治・経済 地理探究	数学Ⅲ 発展数学	数学C	物理 生物	化学	体育	英語 コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	情報Ⅰ	LHR	総合探究																		
3年	文型	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	政治・経済 倫理	数学C	※物基+化基 ※化基+生基 ※物基+生基	体育	英語 コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	情報Ⅰ 国語探究 数学研究 応用英語	LHR	総合探究																				
		理型／α	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	政治・経済 倫理	数学C	※物基+化基 ※化基+生基 ※物基+生基	体育	英語 コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	情報Ⅰ	LHR	総合探究																			

※2、3年文型における「物基」は発展物理基礎、「化基」は発展化学基礎、「生基」は発展生物基礎



伊藤 れな
(日高町立門別中学校出身)

「充実した高校生活」

高校生になると中学の何倍也多忙になります。部活やら学校行事やら。すべてが本格的となり、効率を求められていきます。どうすればこの短い時間に「勉強」をねじ込めるのか。どの勉強方法が効率よく進められるか。これをたくさん考えて欲しいです。例えば私は「この学校を最大限利用する」ことが1番効率的だと考えています。「まあ家で勉強したらいいし」と授業をしっかりと聞いていない人や、大量の課題や高頻度の小テストで「まあ将来使うことないし捨てちゃっていいか!」と思っている人。よく考えてみてください。毎回小テストに本気で取り組んでいれば、基礎が定着するので定期テストの時に要する勉強時間が減るのです。授業で話を聞いていれば、家では今日学んだことの復習ができるのです。学校で課題を終わらせちゃえば、家では自分の勉強ができるんです。この違いって大きくないですか? 学校にいる時間を無駄にしないこととても大事だと思います。授業終わりにわからなかったところを先生に聞きに行ったりするだけでもいいと思いますし、先生方も親身になって答えてくれるので定着率は大きく変わると思います! そして東高校では勉強についての様々な取り組みが行われているためこれを最大限生かせるようになったらもう無敵です。全部利用して東高校で充実した高校生活を送っていきましょう!

■授業

～深く、広く、そして未来へ繋がる学び～

本校では、ただ知識を覚えるだけでなく、自分の考えを深め、仲間と話し合いながら学びを広げていく授業を行っています。社会で活躍する力を育てるために、次のような学びを大切にしています。

◆ 自分で考える力を育てる授業

授業では「どう思う?」「なぜそうなる?」と問いかけながら、生徒一人ひとりが自分の考えを持ち、深く考える時間を大切にしています。分からないことを調べたり、友達と意見を交わしたりしながら、学びを深めていきます。

◆ 仲間と学び合う授業

グループで意見を出し合ったり、クラス全体でアイデアを共有したりする活動も多くあります。自分と違う考えに触れることで、学びがもっと面白く、広がっていきます。

◆ タブレットを使った新しい授業スタイル

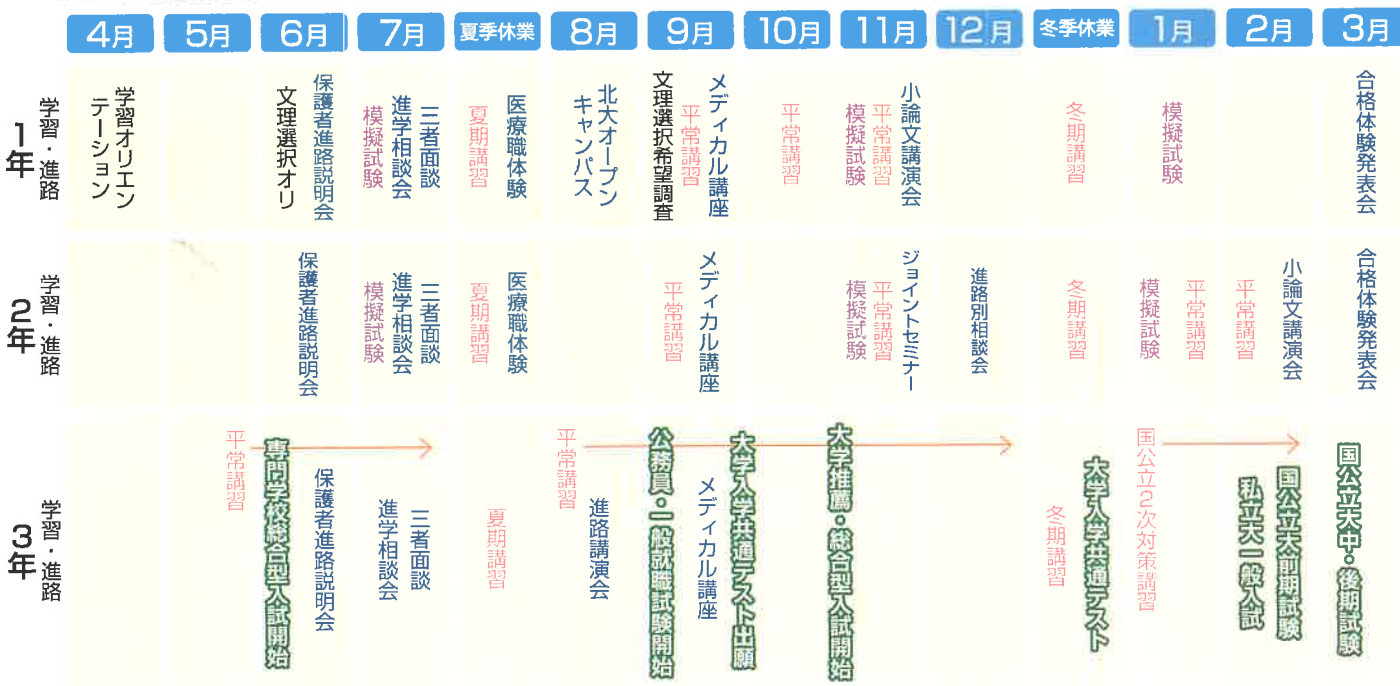
一人1台のGIGA端末の学習環境を整え、クラウドサービスを活用した、いつでもどこでも学べる環境が整っています。また、端末を活用しながら「個別最適な学び」「協働的な学び」「探究的な学び」も推進しています。

■ 日課表

6時間授業				7時間授業			
登校		～	8:25	登校		～	8:25
SHR	8:30	～	8:40	SHR	8:30	～	8:40
1	8:45	～	9:35	1	8:45	～	9:35
2	9:45	～	10:35	2	9:45	～	10:35
3	10:45	～	11:35	3	10:45	～	11:35
4	11:45	～	12:35	4	11:45	～	12:35
昼休み	12:35	～	13:15	昼休み	12:35	～	13:15
5	13:20	～	14:10	5	13:20	～	14:10
6	14:20	～	15:10	6	14:20	～	15:10
SHR	15:10	～	15:20	7	15:20	～	16:10
				SHR	16:10	～	16:20



進路指導



進路実現

個別指導

生徒の進路志望に合わせて、各教科で個別指導を実施しています。難関大学志望者については、毎年多くの生徒が教科担当の先生から個別に添削指導等を受けることで、進路実現を果たしています。

進路実現に向けた多様な進路行事

1 進路別説明会

2学年の後半に、進路志望別に分かれた説明会を実施し、進路実現に向けた意識の高揚を図っています。

3 医療職体験

地元の病院に協力をしていただき、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師の職業体験を実施しています。

5 メディカル講座

大学の先生を招き、医療職を目指す生徒に向けての講演等を行っています。

2 ジョイントセミナー

全国の大学から講師の先生を招き、大学の講義を体験する取り組みを行っています。

4 合格体験発表会

現役合格を果たした先輩から、進路志望先の合格に向けた勉強法や学校生活の送り方等について話を聞きます。

6 北大オープンキャンパス

1学年の夏休みに、希望者を対象に貸切バスで北海道大学のオープンキャンパスに参加しています。

模擬試験

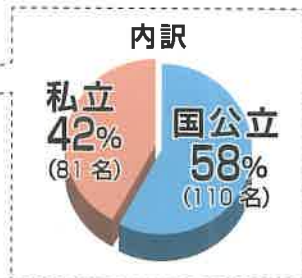
1学年から全国模試を全員受験し、全国における自分の実力を確かめます。模試結果をもとに、各教科担当からのアドバイスやHR担任と進路目標の実現に向けて個人面談を実施します。

講習

夏季・冬季休業中、1、2学年は5日間、3学年は10日間の講習を実施しています。さらに平日の放課後に「平常講習」を実施します。

■令和6年度進路実績

●4年制大学進学率



●現役国公立大学合格者数の推移



●令和6年度卒業生 大学合格者数



国公立大学【現役合格120名(うち110名進学)】

【道内】

・北海道大学	18名	・小樽商科大学	8名	・公立はこだて未来大学	2名
・北海道教育大学旭川校	9名	・室蘭工業大学	9名	・釧路公立大学	5名
・北海道教育大学岩見沢校	2名	・札幌医科大学	2名	・名寄市立大学	3名
・北海道教育大学札幌校	6名	・札幌市立大学	4名		
・北海道教育大学函館校	1名	・公立千歳科学技術大学	3名		

【道外】

・弘前大学	20名	・静岡大学	1名	・長野大学	2名
・茨城大学	1名	・大阪大学	1名	・新潟県立大学	2名
・宇都宮大学	1名	・神戸大学	1名	・都留文科大学	2名
・千葉大学	1名	・広島大学	2名	・愛知県立大学	1名
・東京学芸大学	2名	・宮城大学	1名	・奈良県立大学	1名
・新潟大学	1名	・茨城県立医療大学	1名	・尾道市立大学	1名
・金沢大学	1名	・高崎経済大学	1名		
・信州大学	3名	・前橋工科大学	1名		

私立大学【現役合格379名(うち81名進学)】

【道内】

・札幌大学	5名	・日本医療大学	12名	・北海道医療大学	49名
・札幌大谷大学	1名	・藤女子大学	3名	・北海道科学大学	48名
・札幌学院大学	6名	・北翔大学	4名	・北海道情報大学	1名
・札幌国際大学	1名	・北星学園大学	30名	・北海道文教大学	11名
・星槎道都大学	2名	・北海学園大学	64名		
・天使大学	4名	・北海商科大学	1名		

【道外】

・東北学院大学	1名	・昭和薬科大学	1名	・法政大学	10名
・国際医療福祉大学	3名	・成蹊大学	1名	・明治大学	7名
・神田外語大学	4名	・大東文化大学	6名	・立教大学	1名
・千葉商科大学	1名	・中央大学	6名	・早稲田大学	5名
・東京情報大学	1名	・東海大学	2名	・神奈川大学	6名
・明海大学	1名	・東京工科大学	1名	・静岡理工科大学	1名
・青山学院大学	5名	・東京工芸大学	1名	・名古屋外国語大学	2名
・北里大学	1名	・東京都市大学	3名	・京都美術工芸大学	1名
・慶応義塾大学	2名	・東京農業大学	8名	・同志社大学	4名
・工学院大学	2名	・東京理科大学	1名	・立命館大学	1名
・国学院大学	2名	・東洋大学	6名	・関西大学	3名
・国土館大学	1名	・日本大学	8名	・関西外国語大学	1名
・芝浦工業大学	11名	・日本赤十字看護大学	1名	・近畿大学	7名
・上智大学	1名	・日本体育大学	1名	・関西学院大学	6名

■活躍する卒業生

祝 2020年 直木賞受賞 馳 星周 先生



1965年浦河町出身、1983年北海道苫小牧東高等学校を卒業。横浜市立大学文理学部を卒業後、1996年『不夜城』でデビュー。その後6回の「直木賞」候補を経て、2020年『少年と犬』で第163回「直木賞」受賞



少年と犬

主人公は「多聞」という一匹の犬、シェパードと和犬の雑種です。話は2011年東日本大震災の半年後から始まります。多聞は仙台で中垣和正という男性に拾われます。和正は一時の幸せを感じますが、やがて和正に破滅が訪れます。多聞は和正の元を離れ、これ以後、何人かの人間の元を渡り歩き、交流を持ちます。多聞は不思議な魅力で、それらの人間たちに一時の安らぎと温もりを与えます。そして歴代の飼い主たちはみな多聞がいつも南の方角に顔を向けていることに気づきます。南に一体なにがあるのか。多聞は何を求め、どこに行こうとしているのか？

大澤 ちほさん(平成22年3月卒業)

経歴

1992年生まれ。

苫小牧東高等学校、苫小牧駒澤大学卒業後、株式会社ダイナックス入社。
アイスホッケー女子日本代表として、U18世界大会出場3回、世界選手権出場8回、アジア大会出場2回、オリンピック最終予選出場3回、オリンピック出場3回(2014ソチ・2018平昌・2022北京主将)。本校アイスホッケー部コーチ。



私の志望理由は、「制服がない学校」という安易なものでしたが、入学してみると魅力に溢れた学校で、本当に楽しい3年間を過ごすことができ、校風として掲げられている自主自律と文武両道の精神は、自然とここで学びました。

在学中は、夢や目標に向かって努力している多種多様な同級生・先輩後輩・先生たちが周りにいて、たくさんの刺激を受けていた毎日でした。周りのみんなのおかげもあり、在学中からアイスホッケー日本代表としてプレーすることができ、高校3年間は自分の人生にとって、自分自身を成長させてくれた貴重な時間だったと感じています。

卒業した今でも、東高関係者とは繋がりも多く、いつ誰に会っても暖かい雰囲気になれるところも東高の魅力の1つだと思います。

偉大な先輩方がたくさんいるここ東高の卒業生であることは、私にとって誇りですが、私も後輩や先輩卒業生の皆様に刺激を与えられるような人間になれるよう、これからも努力していきたいと思います。

中野 楓香さん（令和5年3月卒業）

広島大学 理学部 生物科学学科
苫小牧市立苫小牧東中学校出身

苫小牧東高校は自分の夢が実現できる高校だと思います！同級生にも勉強熱心な人が多く、生徒同士で支えあったり高め合ったりしています。また先生たちも熱心に指導してくれ、添削や講習など進路実現に向けたサポートがとても手厚いです！！

勉強ばかりではなく、みんなが楽しめる特色ある行事が多くあります。勉強と両立して部活や行事に全力で取り組める環境が存在するので、1度きりの高校生活を満喫することができます！！

東高に入学したいという目標がある人はもちろんですが、考え中の人もぜひ東高校で高校生活を楽しみながら、自分の進路を実現させてみて下さい。



大谷 菜々美さん（令和6年3月卒業）

大阪大学 工学部 応用自然科学学科
苫小牧市立苫小牧東中学校出身



東高は勉強にも部活にも行事にも一生懸命になれる学校です！

まず、東高には自分の目標をかなえるための環境が整っています。大学受験に向けては、先生方には講習や添削などたくさんのサポートをしていただきました。周りには切磋琢磨しながら一緒に頑張れる友達がいます！もちろん勉強だけでなく、部活動にもしっかり取り組みます！勉強と部活動との両立は大変でしたが、最後まで悔いなくやりきることができました。

また、学校祭や夏と冬の体育大会など激アツな行事があります！どの行事もクラスみんなが団結して、全力で盛り上がれます。特に学校祭では、みんなで企画の準備をするのも楽しかったし、ステージでの劇やお化け屋敷など、とてもクオリティの高い企画を満喫できました！

東高での三年間はとても良い思い出ばかりで、東高を選んでよかったと思っています！ぜひ皆さんも東高に入学して、充実した高校三年間を送ってください！

高坂 佑杜くん（令和7年3月卒業）

札幌医科大学 医学部
苫小牧市立和光中学校出身

苫小牧東高校は進路実現のための環境が整った自由な校風の学校だと思います。勉強面においては非常に熱心な生徒が多く、お互いに刺激し合いながら受験に向けて努力できます。また、先生方も自分たちの進路について真剣に考えてくれ、3年間ずっと支えてもらえます。

勉強のほかに部活や学校行事等みんなが全力で取り組み、楽しめることがたくさんあります。中でも、学校祭ではクラス全員が一体となり企画の準備をしていくことで絆を深めることができる最高の行事だと思います。

東高での3年は嬉しいことつらいこと様々あると思いますが、きっと楽しい思い出ができるはずです。皆さんが東高に入学し充実した高校生活を送れることを願っています！！



年間行事

●始業式 ●入学式 ●対面式

4月



5月

●憲法講話 ●前期壮行会 ●生徒総会



6月

●公開授業 ●前期中間考査

7月

●学校祭 ●学校説明会 ●夏期講習



8月

●夏季体育大会 ●進路講演



「がた高生活に 行事は欠かせない」

学校生活に彩りを加える生徒会行事。本校では生徒会執行部の生徒が中心となって運営しています。

「勉強」だけでは身につかない協調性や企画力を行事を通じて養っています。

9月

●前期期末考査 ●生徒会長選挙 ●強歩大会



11月

●後期中間考査 ●ジョイントセミナー ●後期壮行会

12月

●進路別説明会 ●冬期講習

1月

●大学入学共通テスト

2月

●1学年宿泊研修 ●学年末考査



3月

●卒業式 ●冬季体育大会 ●修了式



10月

●2学年見学旅行



部活動



「学習にも 100%・
部活動にも 100%」

本校には全道的には珍しいアイスホッケー部など、多様な部活動があります。勉強の手を抜かず、全力でチャレンジする精神力・忍耐力を身につけます。



部・外局(令和7年5月現在)

体育系

硬式野球 アイスホッケー
テニス ソフトテニス 陸上 バレーボール
少林寺拳法 バスケットボール
バドミントン 卓球 剣道 柔道 弓道
サッカー 空手道

文化系

科学探究 合唱 書道 茶道 写真
吹奏楽 美術 演劇 ボランティア

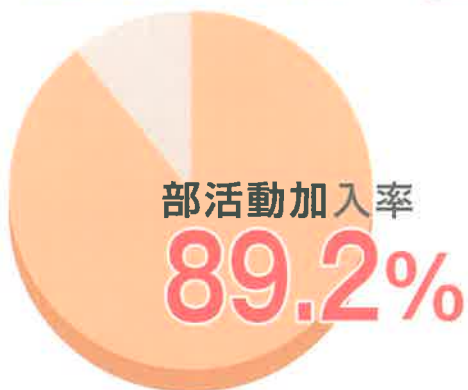
外局

新聞局 放送局 図書局

令和6年度 部活動実績

全国大会進出

アイスホッケー部、陸上部、卓球部、演劇部、放送局
ほかにも多くの部活動が
全道大会に駒を進めています。



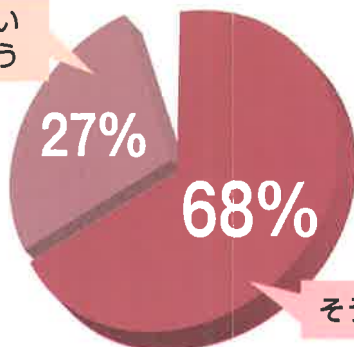
■学校生活満足度

Q.

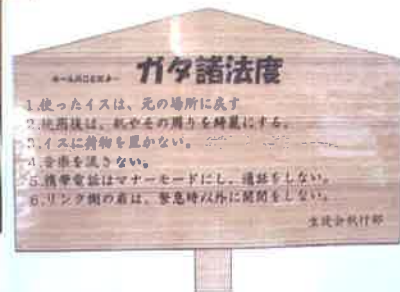
お子様を本校に入学させてよかったと感じていますか。

学校改善のための評価アンケートの結果、約95%の保護者の方から「お子さんを入学させてよかった」という評価をいただいております。

だいたい
そう思う



そう思う



●卒業生保護者の声

生徒が主役であり、「なりたい！」「やりたい！」を全力で応援してくれ、生徒の思い描く未来について一緒に考えてくれる先生方がいるのが、東高校です。

それに負けないエネルギーを持ち、校風にある「文武両道」「自主自律」の通り、学習・部活動・行事に取り組んでいるのが、東高校の生徒の皆さんだと感じます。

学校祭では、普段みられないエネルギーでキラキラしている生徒の皆さんの姿を見ることが出来ました！その姿は、保護者としても嬉しい限りです。

また、PTA活動に無理なく楽しく 三年間、参加できました。活動する時間は短いですが、他学年の保護者の方ともPTA活動を通して交流することもできました。

将来、「なりたい自分になる！」ための三年間が送れる東高校をぜひ選んでみませんか？

(令和6年3月卒業 諸星美海さん母 由美子様)

「私達の指導を信じて大船に乗った気持ちでいてください」娘が高3の夏、三者面談時に担任の先生からいただいた言葉です。進学校と言われる東高に入ったものの「本当に大丈夫？」と不安だった親の気持ちをそのひと言が和らげてくれました。

そんな包容力のある先生方のもとで生徒たちは全力で学校生活を送っています。特に印象的だったのは学校祭。生徒たちがエネルギー全開で楽しむ姿に感動！！でも一方で行事が終わればすぐに勉強モードに切り替わる、その集中力には驚かされました。

PTA活動も無理に参加を求められることはなく、だからこそ自然と関わりたくなり楽しく参加することができました。校風が保護者にも浸透しているようです。

東高はまさに「大船」です。もし揺らぐことがあっても信頼できる先生方がしっかりと舵を取り、自主自律の精神を身に付けた大勢の生徒が上手くバランスを取ってくれるでしょう。どうぞ、安心してご乗船ください。

(令和7年3月卒業 堀内雪花さん母 佳代様)

●生徒会長からのメッセージ



渡辺 三千架
(苫小牧市立啓北中学校出身)

成人するまでの3年間を過ごす、高校という場所。皆さんはそんな場所で、どう過ごし、どんな自分になりたいですか？

ここ苫小牧東高校、通称「ガタ高」では、生徒が一丸となって、自ら学校を運営します。学校は「従うところ」ではなく「創り上げるところ」なんです。代表的な例を挙げると、皆さんご存知の「ガタ高祭」があります。企画段階から当日の運営に至るまで、生徒主体で動いています。他の行事や日常生活でも同じです。意見箱を活用しながら、生徒全体で学校をより良くするために活動しています。

その態度は、もちろん勉強や部活動への姿勢にも繋がっています。自ら目標に向け努力することができる、そんな人たちが集まっているのが東高であり、東高で過ごすことでそんな人間性を培うことができます。

社会に出るうえで皆さんが手に入れるべきもの、したいこと、出来ること、全てこの学校に詰まっています。青春を楽しみ尽くす時間でもあり、社会に出る準備をする時間でもあるこの3年間、過ごすならここガタ高でしょう！学校とは「生徒が創るもの」です。せっかく学ぶのなら、のびのび成長できる場所の方が、何十倍も楽しいじゃありませんか！

■入学者選抜

一般入試 選抜方法 募集人員 240名

入学者選抜に当たっては次に ■学力点と学習点を同等に取り扱う選抜 募集人員の70%程度
示す3つの方法で合格者を決定 ■学習点を重視した選抜 学力点:学習点 = 4:6 募集人員の15%程度
します。 ■学力点を重視した選抜 学力点:学習点 = 10:0 募集人員の15%程度

学習点を重視した選抜
学力点:学習点 = 4:6

学力点を重視
した選抜
学力点:学習点
= 10:0



学力点と学習点を
同等に取り扱う選抜
学力点:学習点 = 5:5



●現1年生からメッセージ



板垣 賢

(苫小牧市立明野中学校出身)

「全力の高校生活を」

私が、東高校を受験すると決めたのは、オープンスクールや学校祭で躍動する先輩方の姿を拝見し、「自分もこの学校で一度きりの高校生活を充実させたい!」と強く感じたからです。

中学校の頃、生徒会に所属していた私は10月以降まで、なかなか平日に勉強時間を確保するのが難しかったので、夏休みや休日に多く勉強するようにしました。また、家で集中できるタイプではなかったので、塾の自習室や図書館を活用していました。12月以降は過去問や塾のテキストを何度も繰り返して演習し、量をこなすことで当日の自分に不安を作らないように心がけていました。また、友達と一緒に取り組むことで、長時間の勉強ができるようになったり、勉強のモチベーションに繋がっていました。

東高校に入学してから、私はとても楽しい生活を送れています。勉強にも、部活にも、行事にも全力で取り組む!という人がここには沢山います。一生の思い出に残る最高の高校生活を東高校で一緒におくりましょう!



原田 漣

(苫小牧市立緑陵中学校出身)

「東高校の学びと生活」

私が東高校を受験した理由は大きく分けて2つあります。1つ目は、私は高校選びの時期に将来の夢が決まっていなかったため、自分の夢が見つかった時のために選択肢を増やしておきたいと思ったからです。2つ目は、勉強だけでなく部活動や行事にも全力な東高校の校風に惹かれたからです。

私は総合ABCの期間から少しずつ受験勉強に力を入れ始めました。総合ABCの結果から自分の得意分野や苦手分野を把握し、得意分野は問題集を買って発展的な問題に対応できるように勉強しました。苦手分野は学校のワークを繰り返し解いて基礎を固めた後に中学校3年間の定期テストや学力テストを解き直しました。自分の傾向を踏まえて自分に合ったやり方で勉強することで、入試当日も自信を持って受験することができたと思います。

東高校では、勉強は難しいですが、友達と教え合ってわからないところをなくしたり、周りに自分と同じくらいの学力の人がたくさんいることで、テストで何位を取りたいなどの身近な目標ができたりして、とても良い雰囲気の中で勉強に励むことができています。また勉強以外の面でも、気の合う友達ができ、部活動で交友関係が広がり、想像以上に楽しい高校生活を送っています。受験勉強はとても大変でしたが、今となってはそこで折れずに最後まで頑張ることができ、東高校に入学することができてとても良かったと思っています。

■ガタ高の歴史

～苫中から東高へ 3万人の青春「80年物語」～

町民の厚い要望から町立苫小牧中学校が設置

昭和10年になって中学校設置運動が起こったものの、道庁の財政状況は極めて悪く、庁立中学校の設置は無理であった。しかしながら中学校設置に対する町民の要望は高く、昭和12年1月2日、満場一致を持って中学校の設置が町会で可決された。その後3月17日付けをもって文部大臣より町立苫小牧中学校設置の認可が下りた。このスピード決定に町民は満足と感激を新たにした。そして4月22日東小学校で開校式が行なわれた。

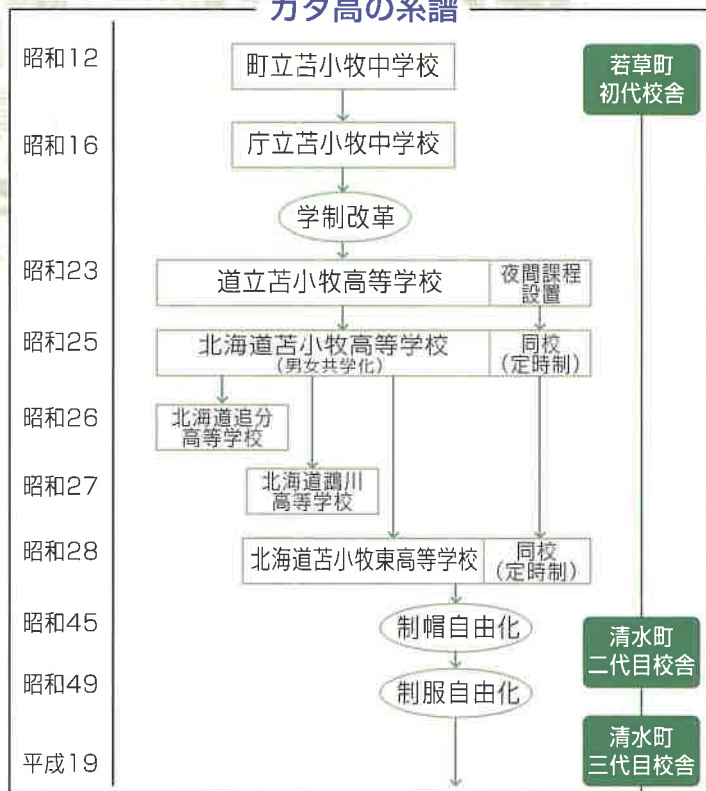
当時の校歌が脈々と続く

昭和23年学制改革により、苫小牧高校への改称。その後、昭和28年に苫小牧東高校に改め現在に至っている。また、学制改革により旧制中学から新制高校に変わった際に校歌を変更した学校も多いが、本校は学校形態が変わっても、若干の歌詞の変化こそあれ、開校当時の校歌が現在に続いている。

制服自由化

昭和45年、制帽の着用が自由化され、その流れを受け継ぎ昭和47年3学年有志により「制服を考える会」が発足した。数多くの討議の結果、昭和49年2月16日の生徒総会で「制服自由化」を賛成462票、反対332票で可決した。3月26日には学校側から回答がなされ、同意する形となった。その際、「学習にふさわしい服装・機能的で通学にふさわしい服装・華美にわたらず清潔な服装」の注意事項が付け加えられた。

ガタ高の系譜



初代校舎



2代目校舎

■ガタ高 Q & A

Q どのような制服ですか？
お金はかかりますか？

A 本校には制服がありません。私服になります。体育用ジャージや部活動ジャージなどを上手に使い、あまりお金をかけないようにしています。



Q 部活動加入率はどれくらいですか？

A 部活動加入率は約89%です。多くの部活動が全道大会、全国大会へ出場しています。



Q どのような学校に進学していますか？

A 道内外の国公立大学・私立大学に進学しています。進学だけではなく公務員や民間企業に内定をもらう生徒もいます。詳しくは本校ホームページをご覧ください。



Q 授業時間はどうなっていますか？

A 1コマ50分で6～7時間授業です。1、2年生では週に1度7時間授業があります。努力を継続し、学力を向上させる生徒が多いです。



Q 定期考査の時期と回数はどのようになっていますか？

A 前期中間考査(6月上旬)、前期期末考査(9月上旬)、後期中間考査(11月下旬)、学年末考査(2月下旬)の年間4回の定期考査があります。



Q 通学手段はどのような方法がありますか？

A J R、バス、自転車、徒歩で通学しています。J R利用者は100人以上います。通学時間は様々ですが通学に1時間以上かかる生徒もいます。



Q 学校祭では、どのようなことをしますか？

A 学校祭では、クラスPR発表、クラス企画(ステージ発表・自由企画・食品販売)、学級旗作成、有志発表などを行います。PTAによるバザーも行われます。



Q 体育大会では、どのような種目がありますか？

A 体育大会は、夏季(8月下旬)と冬季(3月中旬)の2回行います。アンケートにより種目を決定します。冬季大会では苫小牧伝統のアイスホッケーを行います。





北海道苫小牧東高等学校

〒053-8555 北海道苫小牧市清水町2丁目12番20号

TEL: 0144-33-4141 FAX: 0144-33-4143

HP <http://www.tomahigashi.hokkaido-c.ed.jp/>



《ホームページにアクセス》